



巻頭ご挨拶

日頃より、直轄工事の安全活動推進にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて先日、厚生労働省より令和4年の労働災害発生状況の速報値が公表されました。建設業の死亡者数は、前年同時期比で3.3%減の265人(9人減)と2年ぶりに減少したものの、全産業に占める割合は36.6%と建設業が最も多くなっています。

一方、四国地方整備局港湾空港直轄工事においては、平成14年2月6日より7,664日間(令和5年1月31日時点)死亡事故ゼロとなっていますが、労働災害につながりかねないヒヤリ・ハットは今年度も発生している状況です。特に冬季は低気圧等による天候予測の難しさ、現場従事者の体調管理等、施工管理・安全管理の難易度が高くなる時期であり、品質確保調整会議の活用等、受発注者間の連携を密にして無理な施工とならないよう努めてまいります。

今回の強化期間のスローガンは「現場では 常に初心で 事故防止」として取り組んでまいります。過去の事故の要因をみても、単純作業や繰返し作業の慣れ等、基本的な確認や手順がおろそかになった結果が事故につながっています。日々の作業において、常に初心を忘れず基本的な取組を確実に実施し、無事故・無災害を達成しましょう。ご安全に!!

事業計画官 宮崎貴司

令和4年度 第2回 工事安全強化期間

(令和5年 2月1日 ~ 2月15日)

安全強化期間 スローガン

**現場では
常に初心で 事故防止**



四国地方整備局の港湾空港関係直轄工事においては、令和5年2月1日～2月15日を令和4年度第2回工事安全強化期間と定め、スローガン(標語)を用いたポスター掲示やワッペン着用、稼働中現場における安全パトロール等の取り組みを実施予定です。

今回のスローガンは、幅広い港湾空港関係職員から多数の応募がありました。その中から高知港湾・空港整備事務所の唐橋さんの作品を採用させていただきました。ご多忙の中、応募いただいた方々はありがとうございました。

港湾・空港関係直轄工事(全国)における死傷災害発生状況

単位(人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
死亡者数	0	0	1	2	1
負傷者数(1)	15	12 (1)	16	7	4
負傷者数(2)	23	20 (3)	14 (2)	17 (1)	15
計	38 (0)	32 (4)	31 (2)	26 (1)	20

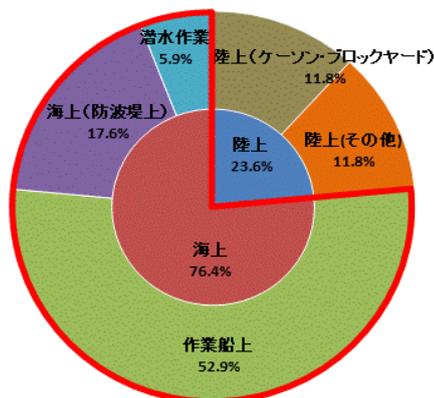
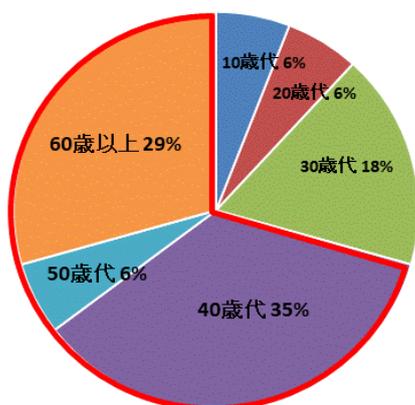
全国における合計件数。(): 四国における発生件数で内数。負傷者数(1)・・・休業4日以上、負傷者数(2)・・・休業4日未満
令和4年度はR4.12.末時点 出典 国土交通省港湾局技術企画課調べ

年々、死傷災害発生件数は減少しつつあるところですが、死亡者が発生した令和2年度、令和3年度に続き、今年度においても死亡事故が発生しました。令和2年度と令和3年度は、潜水士の死亡事故が発生しております。令和4年度の事故は救命胴衣が機能しなかった事が原因の一つとなった死亡事故でした。

港湾・空港関係直轄工事（四国）における死傷災害の特徴

四国の港湾・空港関係直轄工事における年齢別発生状況

四国の港湾・空港関係直轄工事における場所別発生状況



過去10年間に、四国の港湾・空港関係直轄工事において、発生した死傷災害の年齢別の状況では40歳以上の事故が70%を占めており、今後も高年齢層の作業員が増加することが想定されるため、より細やかな対策が必要です。また、場所別発生状況では、海上作業が76.4%を占めています。その中でも作業船上での事故が約52.9%を占めており、基本的な安全対策が確実に実行されるよう、今後も安全意識の再確認を行い、工事事務撲滅を目指しましょう。

無事故、無災害の為に現場で実行しよう！

安全十訓

- 一 いつも元気に、ほがらかに。
- 二 互いに仲よく、協力し。
- 三 指示や注意は、よく守り。
- 四 身支度キチンと、整えて。
- 五 整理・整頓、第一に。
- 六 機械や器具は、よく調べ。
- 七 作業は正しく、順序よく。
- 八 連絡・合図は、しっかりと。
- 九 無理と油断は、ケガのもと。
- 十 わからぬことは、指示待て。

ゼロ災害へ全員参加

- 整理整頓はよいか
- 点検は十分か
- 作業の方法はよいか
- 保護具は使用しているか
- ルールは守っているか
- 連絡合図はよいか
- 保護設備は完全か
- 健康状態はよいか
- 心理的に以上はないか
- 安全の大切さを知っているか

救命胴衣（膨張式）の点検の実施を！

施工場所へ起重機船団で移動中に、曳航していた小型船外機船の動揺が激しくなったため、小型船外機船を単独航行させるべく、起重機船団から離れた際に船尾から浸水し転覆してしまいました。その際に小型船外機船に乗っていた作業員2名のうち、1名が海に投げ出され行方不明となり、3日後に発見され死亡が確認されました。

この死亡事故の一つの要因として、救命胴衣（膨張式）が機能しなかった事があげられています。以上の事から、発注者・受注者（下請含む）の救命胴衣の点検の実施をお願いします。

<あとがき>

令和4年度も残り2ヶ月。四国管内の直轄工事（業務）事故は年々減少傾向です。しかしながら今まさに冬本番を迎え、寒い日々が続きます。寒さ対策、体調管理、及び新型コロナ感染拡大防止対策も含め安全確保に努め、無事故無災害で工事・業務が終了するよう、引き続きご協力をよろしく願います。

